

肺炎球菌由来のシアリダーゼ 33A、組換え型

Cat. No. NATE-1513

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ノイラミニダーゼ酵素は、ノイラミン酸のグリコシド結合を切断するグリコシド加水分解酵素 (EC 3.2.1.18) です。ノイラミニダーゼ酵素は多くの生物に見られる大きなファミリーです。最もよく知られているノイラミニダーゼはウイルス性ノイラミニダーゼで、インフルエンザ感染の防御を防ぐための標的ターゲットです。ウイルス性ノイラミニダーゼは、インフルエンザウイルスの表面に見られる抗原決定因子として頻繁に使用されます。インフルエンザノイラミニダーゼのいくつかの異体は、ウイルスに他のものよりも高い病原性を与えます。他のホモログは哺乳類細胞に見られ、さまざまな機能を持っています。少なくとも4つの哺乳類シアリダーゼホモログがヒトゲノムで記述されています (NEU1、NEU2、NEU3、NEU4を参照)。

別名 神細胞アミダーゼ; シアリダーゼ; α -神細胞アミダーゼ; アセチル神細胞アミダーゼ; エキソ- α -シアリダーゼ; EC 3.2.1.18; 9001-67-6

製品情報

種	肺炎球菌
由来	E. coli
形態	35 mM NaHepes バッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl ₂ 、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.2.1.18
CAS登録番号	9001-67-6
分子量	16.3 kDa
純度	>SDS-PAGEによって判断された90%
濃度	1 mg/mL
最適pH	7.5
最適温度	37 °C
特異性	複糖質炭水化物および糖タンパク質からのシアル酸ヒトアルファ-1 (AGP)

保管・発送情報

保存方法 この酵素は常温で発送されますが、-20 °Cで保存する必要があります。